

KGA

'93春季号

1993年5月1日発行

NO. 42

目次

チャリティの輪を広げよう1
——平成5年度 KGA活動方針——	
グリーンキーパーは“ペン”も持つ2
——芝草管理技術者資格認定制度——	
春のうららの錦ヶ原6
平成5年度 役員・理事・分科委員一覧8

分科委員長は最前線の部隊長である10
新規加盟俱楽部紹介16
総会・理事会・分科委員会19
お知らせ24

表紙photo 桜ヶ丘カントリークラブ(撮影・石川博英)

 関東ゴルフ連盟

KGA今年度活動方針

チャリティの輪を広げよう

——平成5年度KGA活動方針——



第45回「関東ゴルフ連盟通常総会」は、平成5年2月23日に開催されました。細川護真理事長より次記の活動方針が示され、満場一致で承認されました。

私は、昨年度の第44回通常総会において、活動方針として「ゴルフ界のあらゆることに関知し、ゴルフ界のステータス、イメージの高揚をはかる」ことを提案し、皆様のご賛同を得ました。具体的に

1. 「関東オープン」を通じての社会貢献、国際貢献
1. 農業問題、環境問題への取り組み
1. ジュニアゴルファーの育成と指導
1. ゴルファーのマナー向上

といったことをテーマといたしました。

どのテーマも会員諸氏、ゴルファーの理解と協力なくして達成できないものがありますが、おかげさまで昨年度はかなりの成果をあげることができました。

例えば、「関東オープン」でありますが、開催意義をいっそう高めるため、チャリティを行こないましたが、皆様のご協力を得まして、国連難民救済のため国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)に2,098万円寄金することができました。

また、開催地区の茨城県、伊奈町の各福祉団体へも100万円ずつ寄金し、大いに感謝されました。このことのゴルフ界に与えた影響は大きく、他地区連盟の「オープン」でも同じ主旨のチャリティが行なわれましたし、プロ協のトーナメントにおいてもさまざまなチャリティ活動を行うきっかけとなっております。今年度はさらに大きな輪となって広がるものと確信いたしております。

ここに改めて皆様に感謝と敬意を表したいと思います。次に私は「芝草管理技術者資格認定制度」に触れます。

ご高承のように「日本芝草研究開発機構」を作りまして、ゴルフ場のコース管理、それに携わる人々の研修等を行い、資質向上、人材育成をはかることにいたしました。

この機構が主催いたしまして、研修会を全国一斉に開催いたしております。受験者は全国で2,692名、関東で1,275名の多くの人が参加しております。そして、来

る3月27日に、これも全国の会場で同時に認定テストが行われます。

関東ゴルフ連盟は、東日本支配人会と協力してこの実施にあたってまいりました。

このことは、いわば、ゴルフ界が自発的、自主的に「農業問題、環境問題」に真摯に取り組んでいることはかなりまん。農業問題を複雑にしてまいりましたのは、多くの誤解、それを解くためのJGA、KGAの対応の遅さがあったことは否めません。

この制度の発足も、これまでのゴルフ界のイメージダウンを多少なりくい止めることになるものと期待しております。

以上、二つのことに触れましたが、どのテーマもスタートしたばかりであります。今年度以降もひきつき関東ゴルフ連盟の活動目標としてかかげていきたいと考えます。

最後に「年会費問題」について触れます。

関東ゴルフ連盟という団体は、例えればアメリカみたいなものでして、多種多様の民族、異業他社のゴルフ場が集まって形成されているため、いろいろの価値感が混在していると申せましょう。それを一つの国、団体としてまとまる「よりどころ」は、国家では、万人が法の前では平等であること、連盟では、ゴルフ愛好者として志が同じであることを考えます。ゴルフが「国民スポーツ」「生涯スポーツ」として定着した今日、私たちゴルフ界に携わる者の責務はますます重大になつています。

今日のゴルフ界をより充実し、明日のゴルフ界の展望を開くための諸事業を加盟俱楽部はもちろん全ゴルファーの力を結集して取り組む必要があることは言うまでもありません。そのためには、連盟の財政基盤を強化することが必要事であります。

「年会費問題」は以上のようなことから提案いたした次第ですが、諸般の事情で延期せざるを得ませんでした。

この問題は日本ゴルフ協会においても懸案事項となつております。ひきつき皆様に併せてご検討いただされることになります。なにとぞ真意ご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い致します。

グリーンキーパーは“ペン”も持つ

—芝草管理技術者資格認定制度—

話し手 古賀 始 (KGA副理事長・グリーン委員長)
聞き手 杉山通敬 (KGA広報委員)
写 真 舟橋一芳、片山晴美 (KGA広報委員)



古賀副理事長

★一致協力の成果

—グリーンキーパーは、全国でどのくらいいると思われますか。

古賀 全国のゴルフ場数が約1,900ですから、その3倍はいるでしょうね。チーフとサブを入れますと、その下で働いている人も入れれば大変な数になります。

—欧米ではグリーンキーパーのことをスーパーインテンデントと呼んで、支配人と同格か場合によつてはそれ以上の責任と権

限を持ってゴルフ場の管理を委されていると聞きますが、今度、芝草管理技術者資格認定制度（以下認定制度）を設けた背景には彼らの地位向上があると考えてよろしいでしょうか。

古賀 優秀なグリーンキーパー（以下キーパー）を1人でも多く育てたいのです。ライセンスを持てば勉強もするし、自覚も生まれる。それが地位向上にもつながる。いままで縁の下の力持ちというか、日の当らない立場にあったわけですが資



試験会場は東大農学部（3月27日）

格認定されることによって、端的に言えば日本全国、将来的には世界のどのゴルフ場へ行っても、日本の認定をパスしているのなら立派なものだということで通用する。そういう地位向上が目的の1つであると同時に、数年来、問題にされているゴルフ場の農薬使用に対する世間の非難に対してもしっかりした意見が言えるようにしたいわけです。個別的に対応するのじゃなしに、これこれしかじかだから安全ですよ、ということで対外的に説明できるキーパーになってもらいたい。

—認定制度を具体的に遂行するのはどこですか。
古賀 日本芝草研究開発機構（細川護貞理事長）です。3年前にゴルフ連盟団体協議会（以下ゴ連協）が発足して、ゴルフ界のいろいろな問題に対してそれ以前は個別的に対応してきたのを、各団体（日本ゴルフ協会、日本ゴルフ場事業協会、日本パブリックゴルフ協会、ゴルファーのための緑化協力会、日本ゴルフ用品協会）が一緒になって問題解決に当ろうということになったわけです。日本のゴルフ界全体の問題と

して何があるか。まず農薬問題が取り上げられ、1年ほど前に全国のゴルフ場に水質の実態調査を依頼しました。ゴ連協の中に水質調査委員会（古賀始委員長）を設けましてデータを集めた。ゴルフ場ガイドブックに載ってる全てのゴルフ場に依頼しましたがおよそ1,500のゴルフ場から回収できました。どういう時（季節や天候など）にどういう薬を使ったら、どういう所にどのような水質影響が出たか。好い結果も悪い結果も出してもらったわけです。膨大な資料です。やっと回収が終った段階で、これから分析するんですが、まとまればどうゆうケースではどういう薬を使ったらよいか、水質汚染を防げるか、具体的な例で示せるわけです。

—すばらしいことですね。

古賀 全国ゴルフ場の支配人、それから各地区ゴルフ連盟事務局の協力があったから出来たことで、大変に感謝しています。

★受験者1,696名

—この種の一致協力は日本のゴルフ界始まって以来のことじゃないでしょうか。データは“宝の山”ですね。

古賀 ゴ連協の仕事としてもう1つ、せひともやらなければならないのが、優秀なキーパーを育てるとなわけです。データをもとに農薬をはじめとして除草剤や殺虫剤、あるいは耕転など、ケースバイケ

ースのマニュアルを作成しようと思っていますが、これを実行するのはキーパーですからね。そんなわけで、日本芝草学会の先生方にはお願いして、研修テキストを作成し、先ほど述べた日本芝草研究開発機構、これはゴ連協が作ったのですが、この主催でまず、研修会を開いたわけです。キーパーのなか

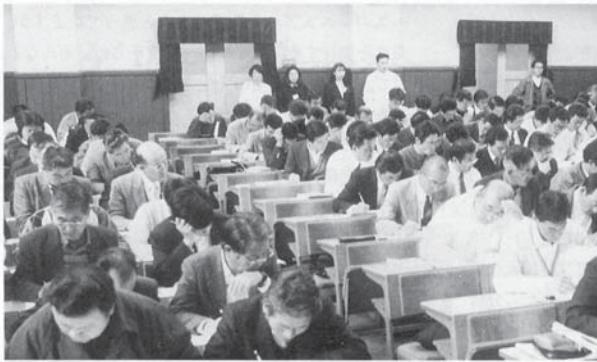


受付は長蛇の列（東大2号館）

には、いわゆる職人気質の者もいますから、いまさらそんなものの受講しなくても分ってると言う者が多いのではないか、と懸念したんですが、全国で2,665人（うち、関東地区1257人）の受講者が集りましたよ。芝草学会の先生方に講師をお願いして、3日間、10時から5時まで420頁余りのテキストをもとにレクチャーして頂いた。会場は全国で16カ所（うち関東6）でした。



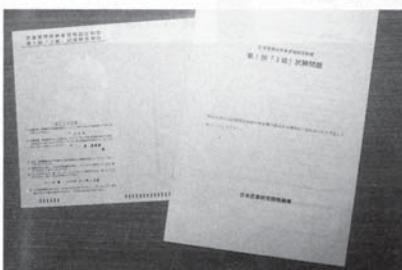
12単位を取得するにはKGAグリーン研究講習を受講しなければならない（4年12月10日、サイエンスホール）受講者400名



そして2時間半の試験が始まった（東大・1号館第8大講義室）

——その受講者が認定試験の受験資格を得たわけですか。

古賀 いえ、単位制にしましたから、受講者には18単位を与え、そのうえで各地区で従来から研究会などの機関で勉強しているので、そのほうにも一定単位、合せて30単位を修得した者に受験資格が与えられました。そして、今年の3月27日に全国一斉に認定試験（3級）をしたわけです。北海道は北大農学部、東北は東北大農学部、関東は東大農学部・東京農業大学といったように国立大学を借りて行った。1,696人（うち関東800人）が受験ましたが、発表は4月中旬の予定なので現在（4月9日）のところ、どのくらいの合格者がいるか分りません。



試験はマークシートを使用

——お話をうがっていると、まさに机は熱せりという感じですね。キーパーの皆さんもゴルフ場の経営サイドの方々も、こうなることを望んでいたんでしょう。

古賀 先生方の御協力はもとより、各ゴルフ場の支配人が世話役として一生懸命やってくれたのでやれたことで、発案者としては感謝この上ありませんよ。今回は各ゴルフ場3名までとしたので、受けたくても受けられない人もなかなかいたようです。そういう人のために今年中にもう1度、講習会とテストを開く予定です。そして来年以降も毎年やっていくつもりです。今回は

3級試験でしたが、今後は2級、1級試験も実施する予定です。

——受講料と受験料は徴収したんですか

古賀 受講料は4万円、受験料は1万5000円でしたが、面白いことに、キーパーの中には自費で受けた者がけっこういたらしい。ゴルフ場で出してくれないからという理由ではなしに、自分のためだから、資格を持てば自分の実力がつくから、ということのようです。それからゴルフ場のキーパーだけじゃなく、道路や公園や競馬場などの関係者も興味を持ってくれているようです。

——芝生が使われている所は多いですものね。

古賀 高速道路の法面などにも最近はさかんに使われていますが、芝の種類によっては伸びすぎて管理にひと苦労するものがあったり、あるいは管理を誤って病気で枯らしたりする。芝生も場所によって適性があるわけで、ゴルフ場以外の所の管理者にも門戸を広げていこうと思っています。

★草っ原ゴルフ場のすすめ

——芝生の病気というのはどのくらいあるものなんでしょうか。

古賀 人間の病気と同じでたくさんあります。これも薬と関係してくるんですが、1つの病気を直すために新薬が開発されると、今度はその新薬では効かない別の病気が発生する。殺虫剤にしてもそうです。近ごろのハエは丈夫になったといいますけど、

むかしは効き目あった殺虫剤でも世代交代しているうちに抵抗力がついてしまうので効かなくなる。すべての生物に似たようなことが起こっていると思うんです。

——生態系が変化してきた。

古賀 ゴルフをやらない人はゴルフ場の農薬には神経質になるようですが、そして知識不足、経験不足の人間が勝手に農薬を散布すれば確かに問題になると思いますが、われわれが気がつかないところでいろいろな害は発生していると思います。その害を発生しているのがほかならない自分自身であることも気づいていない面がある。たとえば酸性雨などそうです。ガソリンを使っていろいろなものを走らせていますけど、その排気ガスが酸性雨を降らせる。それが植物にどれほどの害を及ぼしているか。

——農薬よりもっと大きな問題でしょうね。

古賀 厳密に調べてみれば害になることはたくさんあるにちがいない。

——問題意識を持ったキーパーはいろいろな面から調査、研究する。

古賀 そういうキーパーを全国的に育てていきたいわけです。今の日本のゴルフ場はおしなべて“名門”を志向しているようですが、“名門”とはいいったい何ぞやです。私はいろんなゴルフ場があつていいと思うんです。芝生というのもともと“草っ原”です。芝はイネ科の植物ですが、この種類は5,000種もあるそうです。イギリスのゴルフ場などグリーンだけはきれいに手入れしても、あのところは放ったらかしにしている所がたくさんある。寒冷地用の芝がもともと自生していた所をゴルフ場にしたにすぎない。そういう所の芝は伸びないから刈る必要がない。フェアウェイのある部分が一面、苔のゴルフ場だってある。牛馬はじめ動物の糞も散在している所もある。それでもちゃんとゴルフを楽しんでいるる。

——1万円で楽しませてくれるゴルフ場と5万円のゴルフ場では管理のし方も自ずとちがう。

古賀 経営感覚を持ったキーパーはそういうことも考えて管理すると思うんです。そのためにはゴルファーのほうも意識改革してもらう必要があります。むかしのゴルファー、スコットランドのね、彼らは

みんな“草っ原”でボールを打っていた。それこそ自然のままで。どうしても打てなければアンプレヤブルにすればいい。もっと大らかに楽しんでもらいたいですね。コースメンテナンスもゴルファ一次第です。

——昨年、スコットランドのゴルフ場を何ヵ所か回ってきたんですが、手入れしてあるのはグリーンだけの所が多かったです。昨年は雨がほとんど降らなかったのでフェアウェイの芝など赤茶けていました。芝らしい芝など生えていないんです。プロに尋ねましたら、今年は降らなかつたが来年、来年も降らなければ再来年は雨が降るだろう。何百年もの間そうやって“自然”が芝を管理してきたんだから心配することはない、というんです。

古賀 そうですよ。ゴルフはそういう所でスタートしたゲームですよ。ま、日本の場合は“自然”にまかせつ放しというわけにはいかないでしょうが、高温多湿で四季があり、ものがよく育ちますからね。それにしても、どこもかしこも“名門”意識で雑草1本あっても気に入らない、というのはおかしいです。優秀なキーパーは多様化に対する対応力を持っている。いろんなケースを適切に処置する。そういう処置能力を高める意味でもさまざまなケースがあったほうがいい。向上心を刺激されるでしょうし、勉強もする。したがって自覚も自信も生れる。

——キーパーを育てるのもゴルファ一次第ということになりますか。

古賀 そう思います。私は麦を撒いたコースをつくったらどうかと思ってるんです。イタリアンライ・グラスという芝の種類があるくらいですからね、麦がフェアウェイのゴルフ場だって出来るはずです。そして安上りに管理する研究をしたらどうでしょうかね。最後は少しばかり主題から外れましたけど、優秀なグリーンキーパーが1人でも多く生まれてくれることを願うばかりです。

——それにしても水質調査といい、認定制度といい、すばらしいことがやれましたね。

古賀 ゴ連協の一致協力の賜ものです。それから全国の支配人、地区連盟のまとまりも大きい。私としては何よりも、それがうれしいことでした。

——おめでとうございます。

春のうららの錦ヶ原

文・写真 山田和臣(KGA広報委員)

イラスト 山県和彦

動物、植物の好きな人にとって、「図鑑」はまことに楽しい本である。自分の飼育している“種”的写真や、イラストを眺め、旨い酒を愛でながら過すのはまさに至福の一時だ。

そこでKGA出版局(?)が、「ゴルフアーズ図鑑」の企画を立てたとしよう。

私が担当編集者として、こと欠かな取材場所、チャンスから、真先に手がけるとしたらそれはジュニア・ゴルフスクール会場ということになる。とくに初級者教室であるノーザンカントリークラブ・錦ヶ原ゴルフ場には、ゴルファーという名の、あらゆる「種」が棲息している。

生まれたてのゴルファー(小学校1年生)から、大人になりかけの若者ゴルファー(高校3年生)、それに今を盛りの男女プロ・ゴルファー、トップ・アマチュア、さらに“群れ”的リーダーは、とくにシニア入りしたオールド・ゴルファー……今、あらゆるゴルファー種が、自分達の“縄張り”に棲



8時開講 燕野副委員長より細かい注意と訓辞

息している。

■ レッスンは優しく、きびしく

皆さん、TVの動物番組で子育てのシーンを何度も目にしたことがおありでしょう。そして、一人前になって“群れ”から独立していく、“巣立ち”



この子の球質は素直で将来が楽しみだ



練習場ではたっぷり時間をかけてレッスン



ラウンドレッスン 思うように球は飛んでくれない

の感動的なシーンが目に焼き付いていることでしょう。

ここノーザンで行なわれているのは、“巣立ち”的ための“群れ”的集団教育である。

“群れ”的ボスは燕野副委員長である。119名の“群れ”は、16の小グループに分かれている。そのグループ毎に、2人のリーダーがつき、手とり足とりの指導をする。もう、いっぱいのゴルファーになったつもりの生意気ざかりの高校生には、容赦ない叱責の声が飛ぶ。見るからに、いたいけない小学生のゴルファーには、ていねいに、優しく手ほどきする。

こういった豆ゴルファーが、全国で約8,000名、KGA地区には4,800名いる。そのうちの638名が、今年の春は6つの“群れ”に分かれて集団教育を受けた。(別表参照)



品のいいお年寄りが孫の晴れ姿を見つめる



■ 大ボスは語る

この春、ボスの交代が行なわれた。松野京三前委員長は長老として顧問におさまり、紅露昭通さんが新ボスとなりこの大きな“群れ”的指導者となった。新委員会での紅露さんの話が耳に残っている。

「今、ジュニア・ゴルファーの環境はきわめて悪い。一人でも多くの子に、ゴルフの素晴らしさを味わせたい。そのための場、環境作りが、私たちの責務だ。そして、家庭では教えない、学校では学べない何かをゴルフを通じて身につけさせたい」

桜にはまだしもの陽気だったが、春のおだやかな陽光とさわやかな春風を胸いっぱい吸いながら、豆ゴルファーたちは喜々としてクラブを振りまわしていた。5年~10年後には立派な一人前のゴルファーに育ってくれるだろう。

平成5年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール参加人数

俱 樂 部	平成5年	定員	申込延べ人数	欠席(内無断)	参加者	KGA委員会	男子プロ	女子プロ
我 孫 子(18H)	3月22日(月)	150	151	30(1)	121	11	12	3
茨 城(18H)	3月22日(月)	150	85	12(1)	73	10	11	2
セントラル(18H)	3月23日(火)	150	79	30(3)	49	6	11	2
ノーザン錦(9H)	3月26日(金)	200	129	10(0)	119	17	16	3
桜ヶ丘(18H)	3月29日(月)	150	152	14(1)	138	16	12	3
東京国際(18H)	3月30日(火)	150	153	15(2)	138	14	12	3
		950	749	111(8)	638	74	74	16

役員・委員名簿

平成5年度 役員・理事・分科委員一覧

役員・理事

理事長	細川護貞(東京)
副理事長	中井文治(東京) 古賀始(茨城)
松浦均(習志野)	
常務理事 (15名)	相山武夫(横浜) 福田彰(横浜) 古茶一之(草津) 小池尚(サインクロス) 本多隆将(東京) 飯塚賢治(府中) *上辻孝雄(習志野) 小山義孝(武藏野) 松野京三(サインクロス) 本吉正彦(千葉) 中川好正(薺之台) 野口正三(桜ヶ丘) 沼澤英治(日光) 田中經策(グランル) 渡邊満之助(船橋) *新井安寿(武藏) 福田国三(横浜) 藤原正男(東京) 広中三男(東宇都宮) *堀正彦(小金井) 神場多巳(郡須小川) *加藤邦太郎(長野) *露昭通(茨波) 桑原正明(美原) 前川昭一(横浜) 盛川誠二(宇都宮) 森村太生(横谷) *中島清光(茨波) 南学正昭(オオズノ) *大塚誠実(大塚) 大坪成彬(新千葉) *塚本清士郎(墨氏山) *安欣治(御殿場) 吉田友明(嵐山) 吉澤兵左(唐沢) 岩本勇(郡須) 鈴木太郎(相模) 顧問(2名) 勝又豊次郎(袖ヶ浦) 4月3日死去
理事 (35名)	海老原亜之寿(水戸グリーン) 福嶋寿克(塙原) 平山誠一(江戸崎) 人見隆清(横浜) *伊藤文吉(篆志五頭) 河西幹一(セントラル) *植木陽一郎(日光) *河尻昭一(鶴舞) *植木陽一郎(日光) 原田英正(袖ヶ浦) *河西幹一(セントラル)
監事 (2名)	
顧問 (2名)	

総務委員会(10名)

委員長	中井文治(東京)
副委員長	古賀始(茨城)
委員	松浦均(習志野) 北村順則(サインクロス) 松野京三(サインクロス) 尾閔秀夫(武藏) 滝沢武(都賀) 對馬好次郎(甲府国際)
参与	
顧問	

財務委員会(10名)

委員長	松浦均(習志野)
副委員長	中井文治(東京) 古賀始(茨城)
委員	福田彰(横浜) 北村順則(サインクロス) 松野京三(サインクロス) 尾閔秀夫(武藏) 滝沢武(都賀) 對馬好次郎(甲府国際)
参与	
顧問	

競技委員会(46名)

委員長	尾閔秀夫(武藏)
副委員長	新井昌男(大利根) 新井安寿(武藏)
委員	山田八郎(東名)
参与	
顧問	

ABC順

委員	平山誠一(江戸崎) 土井頴嗣(横浜) 平田成二(藤ヶ谷) 本多隆将(東京) 飯塚賢治(府中) *上辻孝雄(習志野) 古茶一之(草津) 小池尚(サインクロス) 国吉敏夫(鶴舞) 本吉正彦(千葉) 中川好正(薺之台) 野口正三(桜ヶ丘) 沼澤英治(日光) 大久保幸次(日高) 裕戸總三郎(愛媛) 田村圭司(小金井) 田中克幸(嵐山) 山田武男(白帆) 山本和夫(美濃) 野山義雄(武藏野) 福嶋寿克(塙原) 平山誠一(江戸崎) 人見隆清(横浜) *伊藤文吉(篆志五頭) 河西幹一(セントラル) 河尻昭一(鶴舞) *植木陽一郎(日光) *河西幹一(セントラル)
顧問	
委員長	
副委員長	
委員	

ハンディキャップ委員会(34名)

委員長	渡邊満之助(船橋)
副委員長	*原延玲(湯河原) *宮元昭雄(鬼怒川) *斎藤文志郎(フォレスト) 桑原正明(美原) 伏見博明(サインクロス) *濱崎正明(浜野) 亀田秀夫(日高) 町田孝平(長野) *松谷貴彦(富士宮) *成宮秋良(横浜) 関根宏一(薺之台) 田原和夫(桜) 佃恭男(習志野) 山田八郎(東名) *福田豊(横浜) *八木秀夫(立科美善) 顧問
委員	原田英正(袖ヶ浦) *大原慎二(霞ヶ浦) 平山誠一(江戸崎) 吉澤兵左(唐沢) 萩原剛(草津) *早川治良(富里) *小林秋(藤ヶ谷) 三宅通順(都賀) 水田眞一(武藏) *西俊二(武藏野) 鈴木正治(府中) 寺田勇(鶴舞) 白井則吉(我孫子) 横内宏明(昇仙峡) *川又茂三(郡須小川) 古茶一之(草津)
参与	
顧問	

コース・レート委員会(17名)

委員長	*新井安寿(武藏)
副委員長	北村昭夫(東京国際)
委員	*市川一夫(伊加保) 前川武英(富里) 宮辰夫(習志野) 中川好正(薺之台) 岡田光正(嵐山) 阪田哲男(袖ヶ浦) *吉田八郎(府中) 福田彰(横浜) 顧問
参与	*諸戸精孝(霞ヶ浦) 生田憲一(大利根) 松岡和歲(東京) 内藤正幸(桜ヶ丘) 中野弘治(美濃) 大久保蕃(桜ヶ丘) 佐久間義雄(袖ヶ浦)
女子担当委員	

月例競技委員会(18名)

委員長	尾閔秀夫(武藏)
副委員長	新井昌男(大利根) 新井安寿(武藏)
委員	山田八郎(東名)
参与	
顧問	

委員長

委員長	斎藤文志郎(フォレスト)
副委員長	山崎宣彦(霞ヶ浦)
委員	平山誠一(江戸崎) 発知洋一(横浜) 市川一夫(伊香保) *稲垣寛(武藏野) *片倉和三(横浜) 小山敏男(青梅) *諸戸精孝(霞ヶ浦) *西村精治(習志野) 野口正三(桜ヶ丘) 野本俊夫(袖ヶ浦) *萩島富雄(武藏野) 大島義治(同郷チヤン) 関谷龍太郎(東宇都宮) 竹下修一(富里) 田辺嘉一(飯能) 牛込右一(飯能) 山田保太郎(桜) 山崎博靖(富士) 矢野隆男(富士小山) 川島英治(高坂) 市川忠美(南摩城) 小池茂(宍戸国際) 松井義明(日高) 中野弘治(美濃) 岡田光正(嵐山) 阪田哲男(袖ヶ浦) 岩井真一(高坂) 新村ヨシオ(千葉) 竹林守(サインクロス)
顧問	

ジュニア育成委員会(89名)

委員長	*紅露昭通(茨波)
副委員長	菅野昇(サインクロス)
委員	*本吉正彦(千葉) 大久保蕃(桜ヶ丘) 大鷲俊朗(紫) 広中三男(東宇都宮) 榎本靖(戸塚) 沢村賢雄(泉屋・鹿沼) 田中富治郎(我孫子) 日暮俊明(扶桑) 久富章嗣(浅見) 池頭嘉弘(唐沢) *古日山芳夫(芳賀) 小池尚(サインクロス) 小山敏男(青梅) *桑田実義(都賀) 増岡隆一(我孫子) 松下宗嗣(セイムズ) 宮元昭雄(鬼怒川) 村松貴己彦(沼津) 間宮恒行(東名) 松井義明(日高) 三田高裕(泉屋・鹿沼) 森肇(茨波) 中島廣行(伊豆にじやま) 西村仁一(浦戸) 野本俊夫(袖ヶ浦) 沼田正巳(秦野) 萩野隆義(武藏) 関戸行雄(千葉) 大川聰(霞ヶ浦) 大野清純(高坂) 大竹徹(高坂) 桜本隆(南総) *志村堅二(鶴舞) 多々良義成(武藏) 山下進(龍ヶ崎) 山崎博靖(富士) 矢野正彦(秦野) 安間章浩(横浜) 甘樽澄子(東名) 加藤勝栄(相模原) 堀越百子(霞ヶ浦) 湯原光葉(烏山城) 萩原武(草津) 川崎三郎(サインクロス) 狐塙敏雄(塙原) 水野武(茨波) 佐藤辰夫(甲府国際) 江藤浩一(横浜) 葉狩哲郎(横浜) 石井寅(高坂) *後藤聰一(横浜) 真橋幹夫(横浜) 峯岸文男(高崎) *土屋隆朗(高崎) *松野京三(サインクロス)
顧問	

広報委員会(10名)

委員長	*内田盛雄(相模)
副委員長	*宮元昭雄(鬼怒川)
委員	舟橋一芳(江戸崎) 片山晴美(越生) 杉山通敬(鬼怒川) *
参与	山田和臣(東雲) *吉川英明(霧ヶ間)
顧問	

税対策委員会(22名)

委員長	小宮山義孝(武藏野)
副委員長	北村順則(サインクロス)
委員	相山武夫(横浜) 古茶一之(草津) 盛川誠二(宇都宮) *三石恵次郎(八ヶ岳高原) 坂本章一(霞ヶ浦) 玉置忠夫(横浜) 参与
顧問	萩原武(草津) 平林平治(諏訪湖) 孤塙敏雄(塙原) 水野武(茨波) 中村芳之(総武) *杉野勝勝(東京) 勝又豊次郎(袖ヶ浦)
顧問	

グリーン委員会(24名)

委員長	古賀始(茨城)
副委員長	小宮山義孝(武藏野)
委員	浅沼勉(サニー) 浅沼勉(サニー) *海老原寿人(松ヶ峯) 藤原清(都賀) 福山琢磨(総武) 古谷野延雄(日立) *小宝秀夫(東京) *松村貴彦(富士宮) 坂本章一(霞ヶ浦) 鈴木正治(府中) 渡辺悦志(沼津) 山崎一(宍戸国際) 馬場稔(長岡) 参与
顧問	*相澤伸幸(大田双葉) 平林平治(諏訪湖) *川又茂三(郡須小川) 角田三郎(横浜) *森川孝志(GMG) 大久保昌
顧問	

コース選定委員会(7名)

委員長	鍋島直要(東京)
副委員長	田辺嘉一(飯能)
委員	北村昭夫(東京国際) 阪田哲男(袖ヶ浦) 高木邦雄(相模)
参与	
顧問	

関東オープン準備委員会(7名)

委員長	尾閔秀夫(武藏)
副委員長	*中井文治(東京) *
委員	*松浦均(習志野) *内田盛雄(相模) *紅露昭通(茨波) 佐藤幸江(UNHCR)
参与	
顧問	

規約改正委員会(6名)

委員長	*松浦均(習志野)
副委員長	*中井文治(東京) *
委員	*尾閔秀夫(武藏) *内田盛雄(相模) *古賀始(茨城) *尾閔秀夫(武藏) *鍋島直要(東京) *
参与	
顧問	

*印は、新任

座談会 分科委員長は最前線の部隊長である

出席 ジュニア育成委員長 紅露昭通 コース・レート委員長 新井安寿
広報委員長 内田盛雄
司会 宮元昭雄（広報副委員長）
イラスト 山県和彦

3人の新委員長が誕生した。

コース・レート委員長に新井安寿、ジュニア育成委員長に紅露昭通、広報委員長に内田盛雄の3氏である。加盟俱楽部が452（3月末現在）の多くを数えるにいたった今日、連盟活動も複雑多岐なものになったが、新進気鋭（？）の3委員長の活躍が期待される。その抱負を語っていただく。

宮元 いま連盟のあり方がさまざま論議されていることは、皆さんもご承知と思います。山積みする問題を解決していくためには各委員会が活動方針にしたがって（1頁参照）活発に活動いただくことが重要であることは言うまでもありません。

そこで今日は、建前ではなく、具体的にどう対応していくことが必要か本音でお話しいただきたいと思います。

では先づジュニア育成の紅露委員長から。

紅露 ジュニア育成という点だけ見れば、他のスポーツと比べるとゴルフ界はかなり遅れている。ジュニアに対する周囲の考え方方は依然として、“子供がゴルフなんてとんでもない”、という大人の偏見が根強く残っている。

だが将来の健全なゴルフ界のためにはどうしてもジュニアの育成は不可欠であり、KGAが力を入れる理由もそこにあるわけです。

具体的には春・夏休みにジュニア・ゴルフスクールを開校し、指導に当っていますが、先ずは子供たちには楽しい遊びとしてのゴルフをおぼえさせる。そして当面はその場所を作つてやる、それもなるべく多くの子供に多くの機会を作つてあげる。このことを委員会活動のベースと考えています。

宮元 今年は春と夏のスクールが20コースですね。

年端のいかない子供たちですから運営管理も並大抵ではありませんね。しかしジュニア会員は全国で約8,000名、KGAだけでも約4,800名ということですが、この数字を見る限り、スクールではカバーしきれませんね。そうなるとKGAとしてスクール以外のこととも考えなくてはいけませんね。

紅露 ご指摘通りです。一番大切なことは環境づくりと、大人の意識革命が必要なわけで、今年はその点を重視したい。具体的には先ず何よりもゴルフ場の関係者のご理解をいただきすこと、特に支配人さんにより深いご理解をいただき、俱楽部単位でゴルフ教室を開設していただきたい。これを拡大展開することによって問題の解決をはからねばいけないと考えています。

宮元 俱楽部のメンバーの子弟やお孫さんたちを月に一度、15名でも10名でもよいから、ラウンドするチャンスを与えてやる。それがいいゴルファー、ジュニア育成には大事なことでぜひとも俱楽部側のご協力を得たいのですね。

紅露 おっしゃるとおりです。そのことを手がけて



まだ4年ですので数は少ないのでですが、その必要性をご理解いただいている支配人さんも多いので、今年はより積極的にいわば膝詰め談判で交渉しても推進したいと思っています。

宮元 委員数も89名という大委員会ですが、一人、一人が本当にジュニア育成の理念を理解して献身的なボランティア活動をしてほしいのですね。

紅露 その通りです。452クラブのうちクラブ教室を開設しているコースは20俱楽部なんですね。

ジュニア委員の活動はいわば最前線なわけですが、県選出の理事の皆さんにも総動員して戦線拡大、つまり開催俱楽部を一つでも多くふやしてほしい。広報委員会もPRなどでせひともバックアップして欲しい。

内田 当然です。方法とか内容的なものは今後広報委員会で検討して大いに協力していきましょう。

■英才教育は“テング”にする？

宮元 昨年は、主催競技会を中心に、ジュニアはもとよりアマチュアのマナーのチェックを広報委員会でやって見た。ジュニア選手について言えば特に目立つて悪い子は英才教育をうけているというか、トップクラスの選手でした。

実力は別としてテングになって、礼節に欠ける子供が多かった。このことを指摘するファンやギャラリーが多くおりましたが、こうした批判が出ることは残念なことで指導に当たる委員会としても心していただきたい。

紅露 行儀を知らない子供たちを集めて教えるのも委員会の役目だと思ってます。まあ、永い目で見て

ほしい。いづれにせよいいゴルファーになるよう育成していくよう努力したい。

細川理事長は立派なゴルファーになるための三つの条件として、“ボールはあるが今まで打つ”“自分自身が審判である”“他人に迷惑をかけない”ことを挙げている。私はいつも引用して子供たちに教えている。

宮元 ジュニアだけの問題ではなく、それぞれの委員会も責任ある指導と対応が必要なわけだし、委員自身の意識というかその認識を徹底させることも必要なことだと思う。

それではつぎにここでコース・レートの新井委員長にうかがいましょうか。

新井 大役をおおせつかりその責任を強く感じています。レートの査定方式については、これまでUSGAのマニュアルを手本としてましたが、その基本がちょっと曖昧だったと思う。いろいろと批判が出てきた背景もその辺りにあったのではないか、と私自身も強く反省している。

実際問題として、査定委員はかなり経験を積まなければ、より正確な査定はできない。まあ、50～60回以上の経験を積んで、やっと自分なりの尺度をつかめるようになるのではないかだろうか。

JGAのハンディキャップ委員長の福田彰さんが永年、苦労して完成した査定方式それはB案方式と称しておりますが今後はこれで全国統一した方法で査定することになりました。すでに全国8地区連盟のコース・レート関係委員による合同研修も何回も行われましたし、多少の修正を加えて今年度より実施することに決まりました。

これまででは査定委員の主観的な判断でレート査定がなされたきらいがありますが今後はいわば科学的根拠のある査定となりますからそういうこれまでであった批判も少なくなると思う。

宮元 そのB案なるものを具体的に説明していただけませんか。

新井 要約するとコースの難易度、つまり池、樹木、バンカー、グリーンなどの大きさや形、その速さ、それに周辺の障害物など、それぞれを細かく分類し、評価点が定められている。ホール毎にその評価点を計算して、18ホールのトータルでその難易度の評価

数値を算出するという方法です。

宮元 難易度のポイントは昔は1.0までだったが近年に到りプラス・マイナス1.8までとされていましたがそれがこの、B案は3.5にすると聞いていますか?

新井 最近の新設コースの造型を見ると、池の作り方やグリーンなどは極めて大胆なものが多い。このような特殊なコースについてはその難易度が1.8を超える場合もあり、その場合は、査定委員がミーティングを行って最終的な結論を出す方法をとっていた。これからは経験プラス客観的評価値で、より正確な査定ができるようになったと思う。私を含めて古手の査定委員には、初心に帰って新人と一緒に勉強していただきたいと思ってます。

宮元 将来アンダーハンディの競技も考えられるわけそうなると正確なコース・レート、公正なハンディキャップがどうしても必要になるわけでおおいに期待しています。

■コース・レートは末代物ではない

新井 それともう一つ大きな課題として10年以上も経っているコースの再査定問題があります。

ゴルフ場は生き物ですから10年も経つとたとえば樹木一本をとってみても成長して高くなっています。また、ハザードをふやしたりグリーンを新しくしたり改造されているケースが多い。そうなるとコース攻略方法も自づと変わりその結果、査定数値に多少の差が生じてきます。当然再査定をすることが必要となりましょう。

宮元 女子ゴルファーが急増している。レディース・ティをフロント・ティとしてレートを査定する問題はどの程度進んでいるのですか。

新井 これも大きな問題です。再査定と併せて考えて行きたいと思っています。現在はコース側から申請があれば、フロントのレートを机上で算出するという便利な方法で対応しております。これまでかなりのコースから申請があり査定しました。

それと、シニアゴルファーの問題もありますね。歴史の古いゴルフ場はシニアのメンバーが多いわけですが例えはご承知のエージ・シート、これは距

離6,000ヤード以上ないと認められませんよね。そのためシニアのための、ティーがこれから増えてくるでしょう。女子の問題と併せて対応していくと考えています。

宮元 コース・レートは一度取ってしまえば末代物だと思っている俱楽部が多い。そしてその数値の高い所ほど良いコースだと誤解している。

紅露 かつてのハンディキャップの段位の感覚で物を考えているケースと同じですね。

新井 これは大きな間違いです。コースは時にはその造型が大きく変えていくこともありますから、遠慮なく再査定を申請していただきたい。

■452俱楽部、70万人への広報活動

宮元 では広報の内田委員長に抱負の一端をお願いします。

内田 そもそも広報するということは、こちら側に明確な主義主張があって、それを広めていくということですね。ですから先ずはKGA全体のポリシー、それに基づいたKGAの各委員会活動を通じてその正しい主張を伝えていくことが重要な任務と考えます。

機関誌の「KGAニュース」にしても結果の報告だけではなく意味がないし、貴重な金の無駄使いになる。時には正しい提案も必要だし、これからはTV、新聞、雑誌などマスコミとの交流による情報活動を含めてKGAとは何か、KGAがなにをしているかということも加盟俱楽部だけでなく一般のゴルファーにも理解して貰えるような広報活動が必要だ



新井安寿氏
現在 理事 コースレート委員長
財團副委員長。

1933年生 競技委員、月例、コース・レート副委員長を歴任。KGA・JGAでの数多い委員の中年間100日ちかいボランティア活動をこなす貢献度NO.1の方だが今冬よりスキーをはじめ、委員仲間がヒヤヒヤしている。シニア初年兵として秘かにタイトルを狙っている。武藏カントリークラブ所属。



内田盛雄氏
現在 常務理事 広報委員長。
1929年生 神奈川県ゴルフ協会理事長としてもアマチュアゴルフ界発展のため活躍している。日産自動車の元宣伝、広報部長としてキャリア十分。どくにシニア入りをしているが、タイトル狙いには心中を明かしていない。相模カンツリー倶楽部所属。

と痛感している。

宮元 たしかにKGAってなんだ、というような全く連盟の存在に無関心なゴルファーが多い。そういう意味でもただ会報の発行だけが広報の仕事だということでは、これだけの組織の健全な発展には役立たない。

種々の価値観の異なるゴルフ場が

加盟会員であり、目的は共通であるとは言え、サロン的クラブ的発想だけでは連盟の運営はうまく進まないと思う。足が地に着くことがあるか私は地を這ってでも組織が今いかえる問題はなんであるかという実情の調査、掌握をつとめてこそ、眞の広報活動の基礎となるのではないでしょうか。一人の思いつきでは組織は動かない。JGAは象徴的だがKGAはそうではない。加盟倶楽部の意志が反映される組織はどうあるべきか、それと発展するには何が必要か、このことを絶えず考えながら広報活動をすべきですね。

内田 おっしゃる通りです。残念ながらゴルフというものが世の中で誤解されている。ゴルフ界も時代を正しく認識し、正しい姿を見つめ直すという点ではいま重要な時期に来ていると思いますね。

KGAの会員は452のゴルフ場とその会員（推定70万人）ということになっているが、この70万人の会員に直接関係を持つ委員会があつてもよいのではないか。その代表が理事会なわけだが、個々の会員の意志、意見が正確に反映することは難しいですからね。今のKGAの組織では広報委員会が唯一その役目をなうべき委員会だと思いますね。考えてみれば、大変な重責となるわけで、このことを意識しながら活動したい。それが終局的には連盟が設定する目的の達成に役立つことになる。

ジュニア育成の問題だって、452の倶楽部と70万

人のメンバーにどうしたらその気になっていただけか、KGAとしてどう具体的に取組むかはっきりとしたものがあって、はじめて広報活動が展開されることになる。

宮元 これは私の提案ですがKGAの11の委員会には広報委員が陪席して情報を収集したり、会議の模様を傍聴することはどんなものでしょう。

紅露 それは大変結構なことですね。実行してほしいものです。

宮元 ではこの辺りで各々の委員会の問題ではなく、広くKGA全体の問題にお話しいただきたい。

KGAが現在いくつかの問題を抱えていることは事実です。すべては、ゴルフを純粋なスポーツとして育てるためにそのステータス、イメージを高めることにあるわけですが、その目的の達成のためには財政基盤の確立と強化が必要不可欠です。このことは細川理事長が平成4年度、5年度の活動方針として総会の席上で述べられておりますが、加盟倶楽部はもちろんすべてのゴルフ関係者に理解していただき具体的な活動を展開することが必要です。

そこで今日は皆さんには委員長という立場をはなれ、アマチュアゴルファーの一人として、KGAに何を望みどうして欲しいかということを率直に本音を語って貰いたいと思います。

■KGAに顔を向けさせるには

内田 歴史的経過を無視するわけにはいかないが、日本人の15%～20%の人はゴルフをやったことがあ





宮元昭雄氏

現在 広報副委員長 ハンディキャップ副委員長 ジュニア育成委員。
1932年生 広報委員、ハンディキャップ委員、コース・レート委員、ジュニア育成委員を歴任。『ヒゲの宮ちゃん』の愛称で親しまれている。かつては、関東アマ、日本アマに出場。3年前シニア入りしたが、多忙のため成績はふるわなかつた。日本シニアーズ協会の事務局長でもある。鬼怒川カントリークラブ所属。

ます。一方KGAの会員俱楽部数は452、そのメンバーが70万人とすると800万人の約一割しかKGAの会員でないということになる。そして、この70万人の何人がKGAの会員だという認識を持っているだろうか、恐らく僅かな人しかハッキリとした自覚をもっている人はいないと思う。

これをなんとかしなくてはならないのではないか。

紅露 そうですね。先ず組織の一員であることを自覚している人はごく一握りの人で、残りのゴルファーは競技に出席するとか他の催し物に参加する以外にKGAの存在を認識していないのではないか。



と思う。KGAの加盟俱楽部では年間3,000万人の人が、ゴルフをやっているのではないか。その2割として800万人のゴルフ爱好者者がいるとする。これは推測ですが関東の一都10県の年間のゴルフ場入場者はのべ3,600万人、その内、800万人がいわゆるゴルフ爱好者者と思ひます。

内田 昔は限られた人しかゴルフをやっていなかつた。しかもプレイヤーはゴルフ場の会員がほとんどだった。今は誰でもゴルフを楽しむ時代となった。
宮元 ご承知と思うが、KGAは平成7年を目標にさまざまな改革・事業を展開すべく計画している。この目的を達成のためには各委員会の活動的重要性が増していく。そして委員はいわばKGAを代表して事にあたるわけだから加盟俱楽部関係者の注目を浴びるわけで自覚とプライドをもって行動することが要求されますね。また、会員の要望や不平不満を直接耳にすることのできる立場だからきちんと対応することも大切なことですよ。

内田 ゴルフ場もゴルファーも少ない時代はだまつても顔をKGAに向けてくれた。今日のように収入の大半をビジターに頼らざるを得ない時代となるとメンバーよりビジターを歓迎したがってゴルフ場がどっちに顔を向けたがっているか、答えははっきりしている。したがってこんな時代にKGAはどうあるべきかを真剣に考え直すことが必要だ。ゴルフ場がKGAに加盟している意義を感じなくなつて来ることが最も恐い。

新井 むずかしいところですね。

宮元 たしかに問題は複雑だと思う。今年の総会でも“上意下達”云々という発言があったが、これなんかも、対話を求めているという風に、むしろ前向きに対応していくための足がかりにすればと思う。

内田 KGAが一本の指を出して、この指に止まれというやり方だけでは駄目だ。その意味でも組織としてのKGAの在り方、運営の仕方を考えなければならない。

宮元 どうですか、紅露さん。

紅露 要は会員の意向をどう反映していくか、ということに要約されるのではないか。例えば俱楽部対抗を今年から、開催方式を旧に戻したのはよかつたと思う。大方の俱楽部は歓迎してる。一方、関東オープンはどうなんだろう。昨年のプロ協の決定に対して、もう少しなんとかならなかつたものかと思うが。

宮元 関東オープンがマイナーになったと怒っている人もいるが細川理事長がおっしゃるようにゴルフを通じ国際貢献、社会貢献を果たしていくという方

針は立派なことだと思う。それにしてもあらゆるこ^トが財政基盤の確立と強化につながるが。

内田 しかしながら早く関東オープンを収支トン^{トン}できるような収益事業として開催できるようにしたいものだと私は思いますね。その収益の中で社会貢献、国際貢献ができればいちばんいいことですよ。

宮元 連盟本来の活動を進めて行くために、その財政的支援は、そうした収益事業の中に折り込んで貰えれば、KGAとしても確固たる基盤のもとで会員の納得する運営が果されるということだと思う。

新井 世の中の変化に対応していくことは重要だと

いうことは充分理解出来る。

方式を変えて開催することになった昨年の関東オープンも、一部にはやめちまえという声もあったそうだがこの競技の歴史的価値と開催意義とをきちんと理解してほしいものだ。私は昨年度は成功したと思っている。

内田 続けるために何かを考えるということが必要だと思うね。

宮元 いや、今日は長時間にわたり、有意義なご意見ありがとうございました。お三方の活躍を期待いたします。

埼玉県にチャリティの花が咲いた

— 国連難民救済チャリティ埼玉県ゴルフ選手権大会 —

KGAの後援競技は22の多くを数える。しかし、チャリティをテーマにしたのは、この競技が初めてである。おそらく全国でも例のないことであろう。まさに快挙である。

企画したのは、埼玉県ゴルフ協会の西村仁一理事長を中心とした会員の皆様である。

「昨年の関東オープンに触発されました」とのお話しだが、KGA尾関競技委員長はもちろん、UNHCRの皆さんも大喜びであった。

ご寄付いただいたのは

埼玉県ゴルフ協会より50万円

開催俱楽部の美里ゴルフ俱楽部（市川金次郎理事長）より30万円。

事務局長の佐藤が3月23日の表彰式において拝受いたしてまいりました。

国連難民救済チャリティ 埼玉県ゴルフ選手権大会

■日 程／初／第一次予選 平成5年1月21日木
第二次予選 平成5年2月 9日火
決 段 開 始 平成5年3月24日水
決 備 日 平成5年4月22日木
■会 場 美里ゴルフ俱楽部
■主 催 埼玉県ゴルフ協会



新規加入俱楽部紹介



ザ・フォレストカントリークラブ

1. 俱楽部名 ザ・フォレストカントリークラブ
住 所 静岡県周智郡森町橋576-3
電 話 0538-85-4141

2. 開場年月日 昭和62年10月5日

3. 理事長名 関口尚哉 (T14.4.12)
クラブ代表者 川崎 純

4. クラブ分科委員長名
競技委員長 中山正邦

ハンディキャップ委員長 中村捷二

コース委員長 中村宗一

フェローシップ委員長 谷 隆

ハウス委員長 戸田賢治

プロ・キヤディー委員長 山本孝美

5. 支配人名

取締役支配人 南田 豊 (S18.8.7)

6. 俱楽部概要

ゴルフ場は、静岡県西部に位置し、東名高速道路袋井インターチェンジから北へ15分、東海道新幹線掛川駅から25分で到着する。

近辺には古代の森小国神社、“森の石松”で名高い大洞院等古刹が数多く点在する。

気候も温暖で雪も降らず一年を通してプレーが楽しめる。

また、コースにはミカンの木を植え秋には実ったミカンをプレーヤーが自由にとって食べられる。

天竜、橘、一宮コースの27ホールでそれぞれに特徴を生かした造りで構成されている。

天竜コースは遠州灘を望むフラットなベントの1グリーンでマウンドを生かしたコースになっている。

特にNO.4ホールのショートコースは150ヤードの池越えて挑戦意欲をそそられる。

橋コースは自然の地形を生かしたコースで広いベントの1グリーンで廻りにはバンカーが多く要所を占めている。NO.9の短いミドルホールはグリーン手前に池が配置されワン・オンの期待を抱かせる戦略性に富んだホールになっている。

一宮コースは起状を生かした谷越えのホールが多く攻撃的な狙い所の要求されるコースでNO.9ホールの谷越えはティーグランドに立つといやでも挑戦への意欲をそそりたてる。



サザンヤードカントリークラブ

1. 俱楽部名 サザンヤードカントリークラブ

住 所 茨城県東茨城郡常北町下古内776
電 話 0292-88-6000

2. 開場年月日 平成3年10月10日

3. 理事長名 南学正茂 (S 7.4.6)

俱楽部代表者 南学正茂

4. 俱楽部分科委員長代表名

ハンディキャップ委員長 青山次郎

競技委員長 泰道正年

総務委員長 小林利雄

エチケットフェローシップ委員長 三輪邦彦

5. 支配人名 三澤明雄 (S11.11.3)

6. 俱楽部概要

都心より常磐自動車を利用し、水戸ICより10km、10分のアクセスと高低差35m、総面積112万m² (34万坪) の雄大な土地に18ホール、7,017ヤード、パー72のコースがゆったりと配置されている。

コースは多くの名門コースを手がけている小林光昭氏が設計、造成は鹿島建設㈱が行い、完成したコースは自然の地形を巧に生かし7カ所の池と92カ所のバンカーを配置し、ゴルフの醍醐味を満喫させてくれる。グリーンはペントグリーンのワングリーン (平均820m²)、ティグランドは平均4カ所、フェアウェイは大きなうねりをつけ各々変化をもたせている。

特に、8番ホールの三段の滝、14番ホールのフェアウェイ左サイドに横たわる160ヤードのバンカー、カミングホールの9番ホール・18番ホールはティグランドに立つと正面に英國調の優雅なクラブハウスを望み、その前面は水 (2つの池に2基の噴水) と緑 (9・18番グリーン) のコンピネーションの妙趣を満喫できる素晴らしいロケーションである。

クラブハウスはプレー後の語らいを楽しむべく、5,326m² (1,610坪) の建坪にクラブハウスとホテル17室を併設した英國調のモダンの中にも落着いた雰囲気が醸し出す豪華な内装、調度品でまとめ上げている。また、2階レストラン、コンペルームからの眺望は素晴らしく四季折々に大自然を満喫し真のゴルフライフを楽しめる格調高いクラブハウスとなっている。

新規加入俱楽部紹介



カントリークラブ・ザ・ウィングス

1. 俱楽部名 カントリークラブ・ザ・ウィングス

住 所 茨城県西茨城郡七会村德藏436-1
電 話 0296-88-3611

2. 開場年月日 平成3年10月22日

3. 理事長名 神崎安太郎 (T11.2.12)

俱楽部代表者 神崎安太郎 (T11.2.12)

4. 俱楽部分科委員長

(総合) 運営委員会 須郷道也

競技委員会 浅井義胤

コース委員会 柴田良一

フェローシップ委員会 塚田久之

ハウス委員会 菅原和夫

5. 支配人名 宮川啓介 (S10.12.24)

6. 俱楽部概要

太平洋観光開発㈱によって茨城県下にシフトされた4ゴルフ場 (扶桑カントリー俱楽部、カントリークラブ・ザ・レイクス、セゴビアゴルフクラブインチヨタ) の一つとして平成3年にオープンした。交通路は水戸ICより25分都内より1時間40分のエリアとなる。

コースは青木プロ、樋口プロの設計に基づきトータルプロデューサーとして戸張捷氏が携わっています。フラットな地形の中に行届いたコース整備、気品あるグリーンのメンテナンスがゴルフ場の使命と思っています。

ゴルフ場をとりまく環境は、春にはゆるやかな山並と豊かな緑、夏には放牧の牧歌的な牛の群れ、秋には紅葉による桃源的な霧氷気でゴルフのプレーと共に日々の仕事の疲れをいやしてくれます。

ハウスもゆったりとした平屋で明るさと静けさがポイントです。自慢のレストランも中華をメインとして和食、洋食も揃えお客様を飽きさせることはありません。

運営も運営委員会が発足し、4つの委員会も活動を開始致しました。

正式オープンして日も浅く、先輩クラブ各位のご助言を仰ぎ関東ゴルフ連盟のメンバーとして恥じぬよう一杯努力するつもりです。

各位のご指導を宜しくお願い致します。



宮の森カントリー俱楽部

1. 俱楽部名 宮の森カントリー俱楽部

住 所 栃木県下都賀郡壬生町大字上田字上原563-1
電 話 0282-86-6800

2. 開場年月日 平成3年9月26日

3. 理事長名 根津嘉一郎 (T 2.9.29)

俱楽部代表者 根津嘉一郎 内田隆滋

4. 俱楽部分科委員長 選任中

5. 支配人名 山本勝男 (S17.1.4)

6. 俱楽部概要

東武鉄道㈱直営で、法人メンバー制 (600名限定) の当俱楽部は、県都宇都宮市の中心地より12km、車で約25分の所に位置し、西北に日光連山、東に筑波山を眺望し、最大高低差7メートルの緑豊かな平坦な地形に、佐藤品氏設計による自然と造形の調和をコンセプトとした18ホールズが展開されています。

アウトコースは、地形的に変化がありホールごとに個性があります。NO.4H左ドッグレッグの打ち下ろし、NO.5Hはストレートの打ち上げ、そして五月ホールと呼ばれるNO.6Hと息の抜けないホールが続きます。

当俱楽部所属高橋五月プロが描いた穏やかな右ドッグレッグのロングホールで、フェアウェイ全体が右に傾斜し、クロスバンカーが適当に配置され、第一打目の落し場所に頭を悩ませ、身心とも汗をかきライマックスを迎えます。茶店で一服した後右サイドに二段の池の景観を眺めるNO.7H、叙情的余韻を楽しみながら最終ホールへと進みます。

インコースは、全体に平坦で容易に感じますが、フェアウェイの随所にアンジュレーションをほどこし、池やバンカー等のハザードが待ち受け意外性のホールが続きます。NO.13ショートホールは、池に噴水を取り入れ印象に残るホールです。

グリーンは、ペント・コーライのツーグリーンとして、ボールの転がりの繊細な違いを楽しんでいただけます。

オレンジ色の屋根、赤レンガの外壁、そして白色を基調とした明るい品格ある南欧スペイン調のクラブハウスは、語らいと寛ぎの場としてご利用いただけます。

新規加入倶楽部紹介



久慈川カントリークラブ

1. 倶楽部名 久慈川カントリークラブ
住 所 茨城県那賀郡山方町4933
電 話 02995-7-3111

2. 開場年月日 昭和62年10月24日

3. 理事長名 坪内嘉男

俱楽部代表者 中村芳夫

4. 俱楽部分科委員長名

運営委員長 矢野和之

競技委員長 富田章夫

ハンディキャップ委員長 関口元博

広報委員長 城 達也

5. 支配人名 加藤三千夫

6. 倶楽部概要

ゴルフ場は茨城県北部に位置し、常磐自動車道那珂ICより国道118号線（水戸→郡山）24km、久慈川の中流、川と山のある町、山方町のバイパスを過ぎたところ、トンネルの手前を左折、2kmでゴルフ場に到着、都心より1時間50分前後。

コースは加藤俊輔氏の設計で自然林で各ホールセパレートされ、開場6年とは思えない風格がある。また、各ホール戦略性に富み、同じ様なホールは一つもない。グリーンはペントの1グリーンで平均800mあり、大きな段差を持つ2段グリーンもありグリーン、フェアウェイ共気の抜けない面白いコースです。

クラブハウスは、9,335mあり、宿泊施設、研修施設、プール、アスレチックジム、スカッシュコート、麻雀ルーム、図書室屋外施設として、テニスコート3面、森林浴歩道等、滞在方ゴルフ場として建設されたものです、又、現在温泉掘削を完了し利用方法の検討中です。



栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部

1. 倶楽部名 栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部
住 所 栃木県栃木市細堀町376番地
電 話 0282-28-1070

2. 開場年月日 平成3年9月14日

3. 理事長名 石田治夫 (T 8.2.16)
俱楽部代表者 石田治夫 八尋俊邦
4. 俱楽部分科委員長名
競技委員長 石原敬士
ハンディキャップ委員長 加茂野健三
コース委員長 伏木昌二
フェローシップ委員長 酒井四郎
ハウス・食堂委員長 田村佑重
キヤディ委員長 新井邦史
5. 支配人名 葉山和男 (S 5.8.20)
6. 倶楽部概要 別紙の通り

鹿沼グループ経営4番目のゴルフ場として平成3年9月14日開場しました。東北自動車道栃木インターチェンジより3分という地の利を得、栃木市街をはじめ遠く東に筑波山を見渡し関東平野が一望できるきわめて眺望性に富んだ18ホールが展開しております。恵まれたコースで、敷地83.8万平方メートル、約25.4万坪と自然の地形を活かしたコースレイアウトは、フェアウェイにアンジュレーションを持たせる戦略性は、プレーヤーをいっそうのしませてくれます。コース内の植栽は、岩手県遠野市を北限に宮城、福島、群馬、栃木各方面よりいとひば、いちいの大樹をはじめ桜、桂、柳他草木岩石等は国内各地より運び配置し、遠く南は屋久島の石楠毛も移植し色彩りを添えております。コースの設計は故宮本留吉氏。施工は株式会社大林組が行い全長6917ヤード（パー72）と距離も長く幅も平均で80mと広くとっています。最大標高差25mインターバル平均44mと余裕ある設計になっています。ホールの特徴はアウト1番はゆるやかな打ち下ろしのミドルホール、2番、5番は池越えのショート。6番は距離のあるミドルでいちばんの難ホール。9番は右ドッグレッグのロングと変化に富んでいます。インは10番の打ち下ろしにはじまり、13番ホールは関東平野を見て豪快なティショットの打てるショート、グリーンの周囲はすべて池になっている。正確なコントロールショットが要求されます。14番は最長のロングホール。16番は右に岩石を縫って滝が落し、最終18番フェアウェイ左からグリーン前に池がいくこんでいて第2打は池越えになる。いずれのホールも個性的で頭脳的プレーが要求されます。全コースはペント及びコーライの2グリーンです。ハウスの設計施工は白石設計株式会社。地上1階地下1階の2階建のクラブハウスは日本風な様式で外壁は白を基調とし瓦屋根に緑色の銅板が落着いた雰囲気をかもしだし、レストランも四季折々の敷紙をテーブルに置いてなごやかな演出をし美味三昧プレーヤーに喜んでいただいでいます。

総会・理事会・分科委員会

第45回通常総会 議事録

第45回通常総会は、平成5年2月23日(火)午前10時30分より、東京都千代田区紀尾井町4-1ホテルニューオータニにおいて開催された。連盟規約により、細川護真理事長定刻議長席につき、本総会は加盟452倶楽部中、委任状を併せて349倶楽部の出席となり、総会は適法に成立の旨報告の後、閉会を宣した。

記

第1号議案

「平成4年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

細川理事長より、平成4年度事業報告、ならびに平成5年度活動方針を提案の後、議長の指名を受け事務局長、一般会計収支決算報告、財産目録、および国連難民救済寄口収支内容を説明。岩本勇監事より、監査報告があり、原案どおり承認可決された。

第2号議案

「平成5年度一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

中井副理事長より予算編成の基本方針が説明された後、事務局長より詳細な内容の説明があり、原案どおり承認可決された。

第3号議案

「(財)日本ゴルフ協会平成4年度事業報告および決算報告、ならびに平成5年度事業計画および予算に関する件」

事務局長より5年度、事業計画および予算については、平成4年12月11日のJGA理事会において承認され、すでに加盟倶楽部に送付済であること、また、4年度事業報告、ならびに決算については、平成5年2月26日に開催されるJGA理事会において審議承認される予定であるとの報告がなされ、全員これを承認した。

第4号議案

「役員全員任期満了につき改選の件」

平成4年度12月10日の常務理事会、理事会において、連盟規約細則第1条の定めにしたがい、選任された11名の各都県理事候補推薦委員により推挙された次記48名の候補者は、各都県の総意によるものと判断し、細川議長氏名を発表、全員異議なくこれを承認した。

新潟県 伊藤文吉・斎藤文志郎・横山嘉一
長野県 藤原正男・加藤邦太郎・蜜沢正吾
山梨県 田中經策・対馬好次郎
群馬県 福田彰・古茶一之・桑原正明・太田哲男
栃木県 福嶋寿克・広中三男・神陽多巳一・楠木陽一郎・盛川誠二・滝沢武・吉澤兵左衛門・斎藤・滝沢・田中・渡邊各當務理事長

議長12時15分閉会を宣した。尚、決算、予算における積立金の会計処理、ならびに関東オープン開催方式に関して、質疑応答がなされ、関係委員会において検討審議することとなった。

平成4年度 第4回常務理事会 議事録

日 時 平成5年1月22日(金)午前10時
場 所 ホテルニューオータニ・雲海の間
出席者 細川理事長、中井・古賀・松浦各副理事長、相山・福田・北村・古茶・小山・松野・蜜沢・鍋島・尾閑・斎藤・滝沢・田中・渡邊各常務理事長
細川理事長議長を務め、午前10時開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 平成4年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成5年度一般会計・特別会計予算案に関する件

平成4年度一般会計・特別会計決算案議長の指名をうけ、事務局長両決算を詳細に報告、説明し、慎重審議の結果原案通り承認、総会に提案することとした。
平成5年度一般会計・特別会計予算案具体案の審議に入る前に事務局長より次記の策定基本方針の説明がなされた。

イ、平成4年12月10日開催された常務理事会・理事会にて、入場者割による会費徴収は、平成7年度までその実施を延期となつたので、現行年会費収入をもとに編成した。

ロ、事業計画、内容については、基本的に4年度決算をベースとし、現段階では不要不急のものを削除した。新規事業については、必要最小限のもののみとし、経費節減につとめた。

ハ、関東オープン予算については、12月10日の決定にしたがい全加盟倶楽部の負担とするも、必要経費を開催県、開催倶楽部、他県加盟倶楽部にて1/3相当額を負担いただくこととした。

ニ、支出については、4年度実績、経験をふまえて、必要最少限の予算とした。以上の報告をもとに、慎重審議を行い、原案通りこれを承認、総会に提案することとした。

総会・理事会・分科委員会

尚、上記関東オープン予算は、平成5、6年度の暫定措置であり、平成7年度からは、新年会費徴収方法に基づいて、新たな開催方式を検討し、予算編成することを確認した。

2.第45回総会開催に関する件

次記の事項を承認した。

・開催日時 平成5年2月23日(火)
午前10時30分

・会 場 ホテルニューオータニ
 悅の間

・上程議案

第1号議案
平成4年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

第2号議案
平成5年度一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

第3号議案
(財)日本ゴルフ協会平成4年度事業報告、および決算報告、ならびに平成5年度事業計画、および予算に関する件

第4号議案
役員全員任期満了につき改選の件

第5号議案
(財)日本ゴルフ協会理事の推薦に関する件

3.平成5年度関東オープン開催方式の件

中井副理事長より次記提案がなされ、これを承認した。

・入場料は有料とする。
・昨年同様チャリティを行う。

・開催県は持ち回りとするも、加盟俱楽部数を平均化する必要があり、ブロック別をとる。

・加盟俱楽部のチャリティ寄金額は1俱楽部目標額を決めて募金する。

・平成6年度開催県は、栃木県とする。以上を基本方針とし、平成5年度関東オープン準備委員会において、具体案を策定し、関係委員会に提案されることとした。

4.JGA体協復帰に伴う、連盟規約改正の件

JGAの決定に従い、各地区連盟で規約改正をするが、KGAとしては体協に関する改正にとどめず、全面的に見直し改正を行ふ。

そのため、総務委員会に規約改正小委

員会を設け、5年度中に改正案を策定し、次年度総会に提案する。

5.後援競技承認の件

次記競技の後援を承認した。

・「第14回 東日本高等学校ゴルフ選手権
 関東大会・中学生大会兼1992年度関東
 高等学校新人戦」

・「第2回 栃木県ジュニアゴルフ選手権
 大会」

・「'93 神奈川県アマチュアゴルフ選手権
 大会」

・「第12回 茨城県社会人アマチュアゴル
 フ選手権大会」

・「平成5年度第13回 東日本パブリック
 アマチュアゴルフ選手権競技大会」

以上をもって、議案審議を終了、細川議長11時50分閉会を宣した。

平成5年度 第1回理事会 議事録

日 時 平成5年2月23日(火) 午後1時
 15分

場 所 ホテルニューオータニ 桂の間
出席者 細川理事長

伊藤文吉、斎藤文志郎、横山嘉一、
 藤原正男、蜜沢正吾、田中經策、
 尾馬好次郎、古茶一之、太田哲男、
 広中三男、楠木陽一郎、盛川誠二、
 滝沢 武、吉澤兵左、海老原亜久
 寿、平山誠一、人見隆清、古賀始、
 中島清光、鬼沢忠治、尾関秀夫、
 吉田友明、松浦 均、芝本龍平、
 塚本清士郎、渡邊満之助、小宮山
 義孝、相山武夫、内田盛雄、吉岡
 文平、北村順則、前川昭一、南学
 正昭、大池威実 各理事

新井安寿、紅露昭通、松野京三、
 鍋島直要、中井文治 各学識理事
 岩本 勇 監事

細川理事長、議長となり開会を宣し、順次
 議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1.平成5、6年度 副理事長ならびに常務 理事、および平成5年度分科委員長選任の 件

選任方法を踏ったところ、理事長一任と
 なり、次記の諸氏を指名、これを承認し

た。

・副理事長 中井文治(総務担当)、古賀
 始(競技担当)

松浦 均(財務担当)

・常務理事 相山武夫、福田 彰、北村
 順則、古茶一之、小宮山義
 孝、松野京三、蜜沢正吾、
 鍋島直要、尾関秀夫、斎藤
 文志郎、滝沢 武、玉井英
 二、田中經策、内田盛雄、
 渡邊満之助

・分科委員長

総務委員会委員長 中井文治

財務委員会委員長 松浦 均

競技委員会委員長 尾関秀夫
 ハンディキャップ委員会委員長

渡邊満之助

コース・レート委員会委員長

新井安寿

月例競技委員会委員長 斎藤文志郎
 ジュニア育成委員会委員長 紅露昭通

広報委員会委員長 内田盛雄

規対策委員会委員長 小宮山義孝
 グリーン委員会委員長 古賀 始

コース選定委員会委員長 鍋島直要

2.平成5年度関東オープン準備委員会およ び規約改正小委員会設立の件

細川理事長より規約第22条に基づき上記
 の2特別委員会を設立することが提案さ
 れ、これを承認可決した。又、両委員会
 委員長には、

関東オープン準備委員会 尾関秀夫常
 務理事

規約改正小委員会 松浦 均副理事長
 の2氏を指名し、委員の選任については
 両委員長に一任することを承認した。

3.平成5年度分科委員選任の件

選任方法を踏ったところ、委員長議に
 一任することが承認可決された。上記決
 定に従い、3月9日に委員長会議を開催
 し、各分科委員を選任、名簿発送をもつ
 て加盟俱楽部に伝達することとなった。

4.(財)日本ゴルフ協会 平成5年度分科 委員候補選任の件

選任方法は理事長、副理事長、一任とな
 り候補者名簿を2月26日のJGA理事会
 に提出し、加盟俱楽部にはJGAより名簿
 発送によって、伝達することを承認した。

5.後援競技承認の件

2月23日現在、申請のあった次記競技の

後援を承認した。

・「第3回 埼玉県ジュニアゴルフ選手権
 大会」

・「第7回 埼玉県シニアゴルフ選手権大
 会」

・「第10回 埼玉県ミドルゴルフ選手権大
 会」

・「第15回 埼玉県アマチュアゴルフ選手
 権大会」

・「第3回 報知女子アマゴルフ俱楽部対
 抗選手権」

以上をもって、議案審議を終了、細川議長13時40分閉会を宣した。

総会・理事会・分科委員会

はしい。」

2.平成5年度競技委員会編成及び班長の件

別紙の通り決定した。

3.主催競技委員会、副委員長、担当班の件

別紙の通り決定した。

4.ルーリング担当委員の件

今年度より競技委員会内に上記小委員会
 を設けることを決議した。その目的とする
 のは

1. 主催競技におけるルール上のトラブル
 の処理

1. 加盟俱楽部及び会員からのルールに
 関する質疑応答ならびに指導

1. 加盟俱楽部、KGA委員のルール研修
 1. その他ルールについての一切の必要
 事に関する

ことである。

委員長は田村圭司氏、委員に新井安寿、
 諸戸精孝、野口正三、山崎滋男の諸氏が
 選任された。

5.主催競技実施規定の件

今年度上期競技実施規定を別紙のよう
 に定め、加盟俱楽部に送付した。

6.平成5年度競技規則の件

今年度もJGA競技委員会制定の特別規
 则を基に、競技毎に定めることを確認し
 た。また、「使用球の限界」については今
 年度より関東アマ、関東女子、関東オー
 ブンに適用し、俱楽部対抗、関東ジュニ
 ア、関東シニア、グランドシニアは適用
 しないことと決議した。

7.JGA競技委員会決定事項の件

尾関委員長の報告をもとに、次記の件を
 討議し、以下のように決議、確認した。

(イ)スパイクレスシャツの件

今年度よりJGA主催13競技においては
 スパイクレスシャツの使用は禁止と
 なるが(JGA通達参照)KGAとしては、
 競技数も多く影響が大きいので当面は
 現状のままとする。(但し、関東オーブ
 ンは除く。)

(ロ)東北オープンに関する件

今年度より東北連盟も地区オープンを
 開催するが、出場有資格者について東
 北連盟と次記のように合意した。

1. プロ協のブロック分けでは栃木、茨
 城県は東北地区になっているが、オ
 ープンの主催は地区連盟であり、ブ
 ロックの定めに従う必要がない。従っ
 て両県は関東連盟の所轄であり、関

東オープンに出場させる。

2. 日本オープンへのシード枠は昨年通
 り各地区オープン上位3名となった。
 従って、東北オープンが加わるので、
 計21名となる。

8.平成5年度関東オープンについて

尾関委員長より今年度開催方式の説明が
 あり、全委員にさらなる協力要請がなさ
 れた。

平成5年度 第1回ハンディキャップ委員会 議事録

日 時 平成5年3月18日(木) 正午

場 所 ダイヤモンドホテル

出席者 渡邊委員長、原 延章、原田英正、
 宮元昭雄、大原慎二各副委員長
 平山誠一、吉澤兵左、濱崎正明、
 早川治良、小林 秋、村松貴己彦
 水田真一、成宮良秋、西 俊二、
 関根宏一、鈴木正治、田原和夫
 寺田 勇、佃 泰男、白井則吉、
 山田八郎、横内宏名各委員
 福田 豊、八木秀夫各委員
 福田 翠編間

渡邊委員長新任のあいさつの後、新委員を
 紹介、順次議題審議を行った。

1.今年度活動方針について

渡邊委員長より次記活動方針が示され、
 全委員これを確認した。

「現在のJGA Hdcp実施状況は加盟452
 俱楽部内の、完全実施147、併用実施219、
 未実施86であり実施率81.2%となってい
 る。今年度は実施率をさらに高めるため、
 未実施俱楽部にはその実施方を働きかけ、
 実施俱楽部には内容のさらなる充実を求
 めたい。そのためにはきめ細かい活動が
 必要であり加盟1都10県を4ブロックに
 分け、各々に副委員長を担当責任者とし
 て配し、事にあたりたい。4副委員長制
 をとることは、3月9日の委員長会議に
 おいて承認され、原田英正(千葉、茨城
 132俱楽部)、大原慎二(埼玉、東京、長
 野、新潟106俱楽部)、原 延章(神奈川、
 静岡、山梨102俱楽部)、宮元昭雄(栃木、
 群馬107俱楽部、普通会員、ジュニア委員
 担当)の4氏が選任された。前記4班に
 分かれ活動をお願いする。

次に年々増加しているJGA普通会員、
 ジュニア会員のHdcp査定についても関

総会・理事会・分科委員会

委員会と協議して実施したい。また、現行定査システムを採用して15年の永きにわたってその啓蒙、実施促進につとめてきたが、今年度はその仕上げの年と考える。未実施俱楽部については再度その理由を問い合わせ、結果によっては未実施俱楽部会員のHdcp査定については再考したい。このことは競技参加資格にも関わることなので、関係委員会、理事会等に上程し、検討審議する事になる。」

以上の方針とともに活発な意見交換がなされ、具体案については班別に分かれ、さらに検討を重ねた。

2.「ハンディキャップリーダー」について
事務局より次記報告、提案がなされ、これを承認した。

- ・在庫が底したので、1000部増刷した。
- ・美野原カントリークラブより全会員に配布するため1700冊の特注があり、同クラブのロゴ入りの特装版を制作した。
- ・同様の希望俱楽部には、300部以上の場合特別価格350円とし、応じることとした。

3.委員出張旅費について

各班毎の活動に要する上記費用については、事務局にて具体案を策定することとした。

5年度 第1回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成5年3月23日(火) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 新井委員長、北村、諸戸副委員長

市川、前川、松岡、宮、中川、中野、佐久間各委員

福田顧問

—討議及び決議事項—

新井委員長就任の挨拶の後、新委員を紹介、順次議題審議をおこなった。

1.日光カントリー倶楽部以下4倶楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1)日光カントリー倶楽部

ペントグリーン
バック・ティ 72.5
レギュラー・ティ 70.8
フロント・ティ 69.2

(2)長岡カントリー倶楽部

東・西	
メイキングリーン	
バック・ティ	72.3
レギュラー・ティ	70.4
フロント・ティ	69.0
サブグリーン	
バック・ティ	70.0
レギュラー・ティ	68.5
フロント・ティ	67.6

3.3月23日現在申請中のサンフィールドゴルフクラブ以下11倶楽部について、査定日を以下のように決定した。

関東国際カントリークラブ	4月5日(月)
大金ゴルフ倶楽部	4月15日(木)
喜連川カントリー倶楽部	4月16日(金)
サザンヤードカントリークラブ	5月11日(火)

西・南	
メイキングリーン	
バック・ティ	71.7
フロント・ティ	69.4
サブグリーン	
バック・ティ	70.0
フロント・ティ	69.1

神鳥谷カントリー倶楽部	5月17日(月)
ザ・フォレストカントリークラブ	5月28日(金)
栃木ヶ丘カントリークラブ	6月8日(火)
桜ヶ丘カントリークラブ	6月21日(月)
サンフィールドゴルフクラブ	6月29日(火)

南・東	
メイキングリーン	
バック・ティ	71.4
フロント・ティ	69.1
サブグリーン	
バック・ティ	69.9
フロント・ティ	67.6

4.査定指揮書について
各委員慎重討議の結果、別紙のとおり決定した。

4年度 第11回月例競技委員会 議事録

日 時 平成5年3月19日(金) 12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長、山崎・川島副委員長、平山、小池、松井、桜井各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1.3月度競技報告及び総括
川島副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

今年度最後の競技は、北風が冷たく曇天のもとでの開催となつたが、無事終了した。

会場は、開場4年目ではあるが、林でセパレートされ、池が巧みに配置された難易度の高いコースであった。

成績は、男子優勝者の70ストロークを除いては、男女共低レベルであった。

エントリー数は以下のとおり
開 催 日

(3)茂原カントリー倶楽部	
ペントグリーン	
バック・ティ	71.8
レギュラー・ティ	70.0
フロント・ティ	68.5

2.富士カントリークラブの暫定コース・レート査定について

富士カントリークラブより、グリーン工事期間中(4ヶ月間)のテンボラリーグリーン使用時のコース・レートの査定依頼書及び資料を届き、同資料検討の結果、新井委員長、前川委員に暫定レート査定を一任し、査定結果については、次回委員会にて報告することとした。

成績は、男子優勝者の70ストロークを除いては、男女共低レベルであった。

エントリー数は以下のとおり
開 催 日

(4)鴻巣カントリークラブ	
ペントグリーン	
バック・ティ	72.1
レギュラー・ティ	69.4
フロント・ティ	68.2

3.コーライグリーン

バック・ティ 70.7
レギュラー・ティ 69.0
フロント・ティ 67.4

4.年度 第11回月例競技委員会 議事録

5.年度競技(5年4月~6年3月)より上記査定を行うこととした。

その目的は、

①関東のトップアマが、適正なコース・レートを有するゴルフ場でのスコアは、JGA Hdcpの査定の貴重な資料となること。

②出場者がHdcpについて、正しい知識と理解を持つことによって所属倶楽部での啓蒙促進に役立つことができるることである。

なお、この査定は出場資格の有無を判断するものではないことを確認した。

また、4月度ミーティングにおいてHdcp

総会・理事会・分科委員会

平成5年3月16日(火)
委員による研修会を行うこととなった。

平成5年度 第1回ジュニア育成委員会 議事録

日 時 平成5年3月15日(月) 14時
場 所 ダイヤモンドホテル 203

出席者 紅露委員長

菅野、川島、大久保、大鷲、田辺、本吉各副委員長

宮元、藤園、廣瀬、小山、増岡、松井、西村、野本、野村、荻原、岡戸、鳴田、多々良、林、古田山、桑田、酒井、志村、東福寺、五十嵐、加藤、堀越、田村委員

松野顧問

—討議及び決議事項—

3月月例出場資格者報告の件
男子 599名(-21名) 女子 205名(-10名)

4月月例出場資格者報告の件
Gシステム(JGA Hdcp)処理日が3月18日のため、次回委員会にて報告

3.4月のテーマ

・ティグラウンド前方を横切らない
・ボール・マークの修復の徹底

4.平成5年度関東学生ゴルフ連盟推薦選手の件

関東学生ゴルフ連盟より、男子10名、女子7名の推薦について、慎重審議の結果、これを承認した。

5.使用球の規定について

日本ゴルフ協会よりの書簡を検討したが、使用球の限定規則については從来どうり採用することを、全委員承認した。

6.月例選手のグリーンシステムによるJGA Hdcp査定について
5年度競技(5年4月~6年3月)より上記査定を行うこととした。

その目的は、

①関東のトップアマが、適正なコース・レートを有するゴルフ場でのスコアは、JGA Hdcpの査定の貴重な資料となること。

②出場者がHdcpについて、正しい知識と理解を持つことによって所属倶楽部での啓蒙促進に役立つことができるることである。

なお、この査定は出場資格の有無を判断するものではないことを確認した。

また、4月度ミーティングにおいてHdcp

5.夏季ジュニア・ゴルフスクールについて
別紙の日程、会場を予定しているが、今年度はさらに「薦之台」「若洲ゴルフリンクス」の2会場を増やすことを検討中であるとの報告があった。

6.関東ジュニア予選、決勝競技について
別紙の日程、会場において行うが、具体的な実施規定等については、KGA、高ゴ連、スボニチの3者会議において、検討審議することを確認した。

7.その他
昨年、関東オープンにおいて大好評を博した、ジュニア・ゴルフクリニックを今年度も行なうことを確認した。

平成5年度 第1回広報委員会 議事録

日 時 平成5年3月12日(金) 午後4時
場 所 KGA会議室

出席者 内田委員長

宮元副委員長、石川、和田、山田各委員

—討議及び決議事項—

内田委員長より、2月23日の平成5年第1回理事会及び、3月9日の委員長会議において、今年度分科委員長及び、新委員が選任されたとの報告、あいさつの後、順次議題審議を行なった。

1.今年度活動方針

紅露委員長より次記方針が示され、これを確認した。

「基本的に、前松野委員長の方針を踏襲したい。

具体的には、

1. 加盟倶楽部による子弟を対象としたジュニア教室

1. KGA主催 ジュニア・ゴルフスクール

1. 関東ジュニアゴルフ選手権を活動の3本柱とし、ジュニア・ゴルファーの指導育成にあたりたい。そのための関係諸氏のご協力、ご尽力をお願いする。」

2.副委員長選任の件

委員長より3月9日の分科委員長会議において、次記の諸氏が選任されたことを報告、これを承認した。

菅野 昇、川島英雄、大久保 蕃、大鷲 俊朗、田辺嘉一(以上留任)
本吉正彦(新任)

3.班編成について

別紙のよう3班に分けて、スクール、競技等を担当することを確認した。

4.春季ジュニア・ゴルフスクールについて
別紙の日程、会場において開催、各委員の分担を決めた。

月例競技成績表

(平成4年度12月月例) 12月4日(水)

茨城ゴルフ俱楽部(西コース)

男子

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	太田 再勇	大 相 模	37	33	70
2	石井 保行	東 名 厚 木	36	35	71
3	藤崎 和典	富士・笠 間	33	39	72
4	和田 雅英	東京五日市	39	33	72
5	亀井 隆 唐	沢	36	37	72

コースレート 72.5

(平成4年度1月月例) 1月27日(水)

程ヶ谷カントリー俱楽部

男子

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	飯田 哲男	袖ヶ 津	34	35	69
2	根本 太清	水 戸	36	36	72
2	内藤 正幸	桜ヶ 丘	35	37	72
4	宮 辰夫	習志野	36	37	73
4	鳴田 豊人	青 梅	35	38	73
4	堀越栄治郎	相 模 原	34	39	73
4	石井 保行	東 名 厚 木	36	37	73
4	中野 弘治	美 春	35	38	73

コースレート 71.8

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	菊地あづ子	白 帆	43	38	81
1	加藤 勝栄	相 模 原	42	39	81
3	小川 愛	宇都宮国際	42	41	83

コースレート 69.6

1位タイのプレーオフは、2月度月例にて行ない、
菊地あづ子選手の優勝と決定しました。

(平成4年度2月月例) 2月17日(水)

東京ゴルフ俱楽部

男子

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	飯田 哲男	袖ヶ 津	35	36	71
2	室伏 健二	東 名	38	34	72
3	横尾 要	あさひヶ丘	39	34	73
3	岩田 光男	チサン黒羽	37	36	73
3	宮 辰夫	習志野	38	35	73

コースレート 72.2

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	菊地あづ子	白 帆	43	38	81

コースレート 72.2

(平成4年度3月月例) 3月19日(水)

ガーデンゴルフ俱楽部

男子

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	浅野 康一	日本	35	35	70
2	高安 信行	セントラル	35	37	72
3	日暮 俊明	扶桑	35	38	73
3	宮 辰夫	習志野	37	36	73
5	朝原光太郎	美野原	35	39	74
5	加藤 一彦	千葉	39	35	74
5	内藤 正幸	桜ヶ丘	38	36	74
5	堀越栄治郎	相模原	36	38	74

コースレート 72.4

順位	氏名	俱楽部	アウト	イン	合計
1	中野陽子	新千葉	39	37	76
2	渡辺恵子	高根	41	37	78
2	大竹康子	下野	39	39	78

コースレート 70.2

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」(平成5年度1月31日現在)
の変更事項は、次記のとおりです。お手数ですが、訂正加筆をお願いします。

理事長

- 小樽カントリー俱楽部 (新)首原 春雄 (II)朽木 英一
- 長野カントリークラブ (新)加藤邦太郎 (II)花岡 堅而
- 那須ゴルフ俱楽部 (新)安田 弘 (II)山崎 國雄
- 八戸カントリー俱楽部 (新)川口 勝弘 (II)川口 勝弘 (代行)
- リバーフォートカントリークラブ (新)茨木 忻治 (II)三和 照
- 師ヶ崎カントリー俱楽部 (新)藤村 正哉

俱楽部代表者

- 長野カントリークラブ (新)小坂 健介 (II)花岡 堅而
- 都留カントリークラブ (新)鶴川 史郎
- 草津カントリークラブ (新)秋原 充(訂正)
- 那須ゴルフ俱楽部 (新)松本 富夫 (II)山崎 國雄
- 宮の森カントリー俱楽部 (新)根津嘉一郎 (II)根津 隆滋
- カントリークラブ・ザ・ウイングス (新)鈴木 重世 (II)鈴木 覙佳
- 新水戸カントリークラブ (新)水野 寅雄 (II)一色 達夫
- 東京ゴルフ俱楽部 (新)石塚 泰彦 (II)青木香須夫
- 総成カントリー俱楽部 (新)五味 瑞生 (II)宅重 英彦
- 青梅ゴルフ俱楽部 (新)平光淳之助 (II)小山賢之助

- 藤枝ゴルフクラブ (新)三浦 徳一 (II)望月 一郎
- リバーフォートカントリークラブ (新)茨木 �忻治 (II)三和 照

支配人

- 河口湖カントリークラブ (新)山田 三郎 (II)有賀 錦吉 総支配人 有賀 錦吉
- 都留カントリークラブ (新)金子 文雄 (II)長妻謙一郎
- 新水戸カントリークラブ (新)久保田清志 (II)松井 孝
- 習志野カントリークラブ 空港コース (新)斎藤 啓夫 (II)岩間 芳夫
- 八戸カントリー俱楽部 (新)佐藤 龍雄 (II)本吉 好夫

所在地

- 豊岡カントリークラブ 〒438-01 静岡県磐田郡豊岡村敷地1460-1 ⑨0539-62-2561 ⑩0539-62-4419 (訂正)
- FAX番号 ● 総成カントリー俱楽部 ⑨0476-36-0908
- 七ヶ八ヶラステロスゴルフクラブ (新) ⑩102 千代田区富士見2-4-3 朝日観光ビル
- サザンクロスカントリークラブ ⑨150 湾岸区神宮前1-15-5 ⑩03-3423-6464 ⑪03-3423-6460

HDCP

- アイビスゴルフクラブ ●→○に変更
- 小千谷カントリークラブ ▲→●に変更
- 柏崎カントリークラブ ▲→○に変更
- 森林公園ゴルフ俱楽部 ●を採用
- カレドニアン・ゴルフクラブ ▲→○に変更
- 京カントリークラブ ●→○に変更
- 伊東カントリークラブ ▲→●に変更